

## 感性認知脳科学専攻

第54回 「こころ」の科学セミナー  
第24回 プレミアム論文研究セミナー

### 化粧品の研究開発と 脳計測の活用

谷田 正弘先生

資生堂グローバルイノベーションセンター  
基盤研究センター 化粧心理行動グループ マネージャー

化粧品は毎日使用するモノなので、肌を美しく健やかに保つ本来の効果に加え、魅力的な香り、手に取りたくなるような外観、心地よい肌触りなど感性面にも工夫が凝らされています。このため商品開発への脳研究導入も他業界に比べて早く、1980年代初頭に遡ります。この30年余り脳研究を続ける過程で、産学共同研究も多く経験した中、論文にすると同じになっても、こんなに産と学のアプローチは違うのだなあと思わされる経験が何度かありました。この講座では、いただいた趣意を受けて、論文成果の羅列よりも、むしろ論文には書かれることのなかった事例を取り挙げ、「カスタマーファーストの脳活用」「出来のいいモノ同士の使い心地を脳で見分ける」「実験室からフィールドへ」など、企業に独特の課題をとりあげ、脳研究活用の現状と未来についてお伝えできれば幸いです。

### 高齢者のQOLを 支える化粧のちから

川口 勝浩先生

資生堂ジャパン株式会社 ジャパン運営部  
健康美容ビジネス開発グループ グループマネージャー

健康寿命を延ばす秘訣とは何か？私たちは、それは脳、身体、心の健康にあると考えています。心身が健康でも認知症を患うと自由に外出することができません。脳と心がしっかりしていても足腰が丈夫でないと友人と会うこともままなりません。脳と身体が元気でも気分が沈んでいてはちっとも楽しくありません。私たちは、化粧が脳、身体、心のすべてを元気にすることを発見しました。そして、1975年から高齢者の皆さまにボランティアで進めてきた「お化粧教室」を2011年より有償の事業化に踏み切りました。私たちは、何故事業化するに至ったのか？5年経過した現在どのように進んでいるのか？また将来に向けて何を目標しているのか？資生堂の超高齢社会における新たな取り組みをご紹介します。

日時：2016年12月26日（月）

15：00～

場所：総合研究棟D 1階公開講義室（116室）